

～認定看護師のあいさつ～



木々の緑が色濃くなってまいりました。

私は、2009年7月に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得し、2018年に小林市立病院に入職しました、永迫さゆりと申します。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、1997年WOC看護認定看護師として誕生し、2007年7月から一般の方にも分かりやすい名称として皮膚・排泄ケア認定看護師となりました。皮膚・排泄ケアの専門性はストーマケア（人工肛門・人工膀胱）に始まり、次第に褥瘡などの創傷ケアや失禁ケアへ拡大していきましました。多岐多様にわたりますが、専門知識や技術の基礎はスキンケアです。

現在、地域包括ケア病棟に所属しています。自部署の他、週1回程度の活動日に院内各部署をラウンドし、病棟・外来看護師と一緒に対象の患者さんにケアを提供しています。主に褥瘡予防・治療ケア、ストーマケア、失禁に伴う皮膚障害のケアの提案や実践をしています。また、月2回、褥瘡対策チームによるラウンドを行い、対象の患者さんのベッドサイドへ行きスキンケアや局所ケア、ポジショニング、栄養評価などを行っています。ストーマケアでは、ストーマ装具の選択、患者さんご家族にストーマ管理指導や日常生活の工夫について紹介しています。最近では退院された患者さんの訪問看護師の方からストーマケアについての相談もあります。この他に、看護師の指導・支援や院内教育、専門分野に関する職員からの相談対応を行っています。

活動を通して、皮膚・排泄ケアの重要性はますます高まっていることを実感しています。近年では褥瘡やストーマを保有した患者さんが、在宅や施設で生活するケースも増えています。患者さんやご家族が安心・安全に過ごせるよう、地域のあらゆる職種の方々と協働し活動していくことが今後の課題と考えております。

微力ではありますが、地域に於いても活動を広げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

小林市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 副看護師長 永迫 さゆり

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



診療部紹介 消化器外科・腫瘍外科

消化器外科・腫瘍外科は、主に手術を中心とした急性期医療を担っています。

2020年1月から12月の手術件数は、全身麻酔が236件で2019年の213件より増加しています。悪性疾患の手術は75件で、結腸癌：36件、直腸癌：19件、胃癌：10件と多い疾患でした。良性疾患はヘルニア疾患が53件と最多で、胆石胆嚢炎が31件、虫垂炎が20件でした。鏡視下手術は全手術症例で44件、緊急手術は27件で、2019年は25件、2018年は30件と著変なく、消化管穿孔が11件、ヘルニア嵌頓が8件と多い疾患でした。近年高齢者の患者さんが増加していますが、手術症例では2020年の平均年齢は68.4歳、悪性疾患で74.7歳、10年前の2010年の68.6歳と75.1歳と相違はなく、80歳以上の割合は2020年が38.9%で、ここ数年40%前後を推移しています。ただ高齢にて手術適応の判断に難渋する症例は増えているのが現状です。

悪性疾患に対する化学療法も積極的に対応しています。従来の殺細胞性薬剤に加えて最近では分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤の使用によって、化学療法の効果も向上しています。その件数は、2020年が867件（外来：410件、入院：457件）と2019年の692件（外来：311件、入院：381件）に比べ増加傾向です。疾患によっては、宮崎大学、鹿児島大学などの高次病院と連携を取り適確な治療を提供することに心がけています。

我々の主な業務である手術等の件数が増加し、その業務に集中できていることは、地域住民の皆様方の御理解と医師会の先生方の御協力のおかげであると感謝いたします。今後も皆様方のご期待に添える医療を提供できるように努力します。よろしくお願いします。

病院長 兼 診療部長 徳田 浩喜

看護部紹介 4階東病棟

当院の地域包括ケア病棟では、各診療科で急性期の治療を経て、自宅や施設など在宅復帰や仕事への社会復帰を目指した退院支援を行っています。また退院後の生活に不安のある患者さんご家族の思いを聴き、リハビリ・栄養士・医療ソーシャルワーカーとカンファレンスを設けて情報共有を行っています。

介護保険申請のご案内、自宅で医療行為が必要な場合の訪問看護やケアマネジャーとの連携などを、医療ソーシャルワーカーと協力しています。

患者さんに合った日常生活のリハビリ（杖や歩行器を使った歩行訓練など）を、リハビリスタッフと共に考えて取り組んでいます。

食欲のない方が、少しでも食べられるような工夫や再入院につながらないための栄養管理と指導を、栄養士と行っています。

現在、新型コロナウイルス感染拡大予防のため面会禁止のご協力を頂いており、ご家族さまの意向を直接伺うことが難しい状況ですが、当病棟の看護師一同プライマリーナースング（1人の患者さんに1人の看護師が担当）による退院支援に力を入れています。



4階東病棟 主任看護師 今井まり子



新規採用者紹介

令和3年度の新規採用者をご紹介します。
よろしくお願いいたします。

常勤医師

救急科

えんどう じょうじ
遠藤 穰治

令和3年4月1日付で救急科科長として赴任した遠藤と申します。

一人の力は高が知れていますが、“共育”を通して皆様と協力しつつ西諸地区の災害・救急医療の一助ができればと考えております。

整形外科

ひだか みき
日高 三貴

宮崎市郡医師会から異動で、4月に着任しました日高です。

人と人とのコミュニケーションを第一に、患者さん、スタッフとも親しみやすい医師を目指しています。一緒に、より良い医療をつくっていきましょう。

非常勤医師

救急科

くどう ようへい
工藤 陽平

4月から週1回、こちらで勤務しています。救急科として救急搬送症例や walk in に対応します。

西諸地区の医療に少しでも貢献できるように尽力いたします。

よろしくお願いいたします。

循環器内科

かきはら ゆうじ
柿原 裕二

はじめまして、柿原と申します。

今回、小林の地を訪れたのは初めてですが、地域医療に貢献できるよう精一杯がんばりたいと思います。

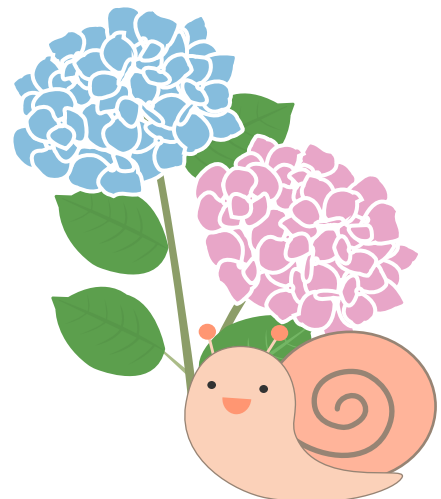
臨床検査室

検査技師

のぐち みか
野口 美香

昨年5月から検査室勤務でお世話になっております。

不慣れな事がたくさんありますが、周りのスタッフの方々と共に西諸地区の地域医療に貢献したいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。





病棟

看護師

おおくさ のぞみ
大草 望愛

趣味：旅行、ショッピング

3階病棟で勤務させていただくことになりました。

経験したことのない科に不安もありますが、日々勉強に励みながら地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

看護師

こだま まゆ
児玉 麻結

趣味：旅行、映画

4月から3階病棟で勤務させていただくことになりました。

日々笑顔を忘れず患者さんの心に寄り添った看護の提供ができるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

看護師

ふるかわ けんすけ
古川 健助

4月から看護師として入職しました。

看護師一年目で緊張の日々を送っていますが、優しい先輩方のご指導の下、看護の道を歩んでいます。

笑顔とあいさつを忘れずに、安心・安全な看護を提供できるように頑張ります。

看護師

まつお なお
松尾 菜央

この度、看護師として入職しました。

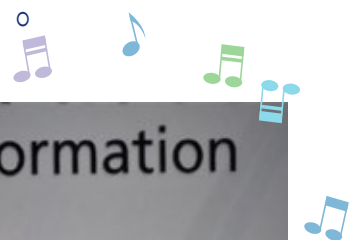
社会人1年目で慣れないことが多いですが、先輩方や同期に支えてもらいながら生まれ育った西諸地域のために頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

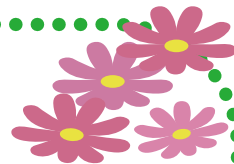


西諸華道連盟の皆様から、素敵なお花をいただいています。

心から感謝いたします。



コメディカル紹介 放射線室



放射線室は4名の診療放射線技師が従事しており、様々な画像診断装置を駆使し、診断・治療に用いる画像の提供や、各種放射線機器等の保守管理および放射線被ばく防止に関する業務を行っています。

急性期病院として必要不可欠な検査機器を導入し、最新の検査技術と安全な医療の提供に努めており、患者さんに安心して検査を受けて頂けるように最小限の放射線で最大限の情報を提供できるように取り組んでいます。

また、近年進歩し続ける技術や多様化する専門性に対応した医療を提供できるように日々研鑽し、各種専門認定技師の育成にも力を入れています。

～認定資格～

- ・検診マンモグラフィー撮影認定技師 3名
- ・X線 CT 認定技師 2名
- ・超音波検査士 2名
- ・第一種放射線取扱主任者 1名
- ・救急撮影認定技師 1名
- ・ICLS 認定インストラクター 1名



～高額医療機器の共同利用について～

地域の医療機関からの検査依頼に迅速に対応できる体制を整えています。

CT・MRI・マンモグラフィー・骨密度検査依頼は地域連携室までお問い合わせ下さい。

～CT 装置更新のお知らせ～

最新のマルチスライスCT（64列128スライス）を導入しました。

従来の装置に比べ、短時間で鮮明な画像を得ることが可能となりました。

放射線被曝も低減されており、患者さんの負担が少なくなっております。



放射線室室長 原田 教信

コメディカル紹介 臨床工学室



当院の臨床工学室では、国家資格を持つ医療技術者が3名で組織されており、医療機器全般にわたって操作・保守点検・管理を行い、チーム医療の一員として患者さんへのより良い医療・安全な医療を提供できるよう夜間・休日にも対応できるように24時間の待機体制で勤務しています。

最近では、在宅医療の他職種連携情報共有や新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、携帯電話やタブレット等、情報通信技術を活用した遠隔診療システム等に多く携わる傾向にあります。

今後とも医療機器を通して患者さんの*QOL向上はもちろんのこと、より安全で患者さんのニーズに応えられるように努めてまいります。



遠隔診療サポート機能付き見守り支援システム

*QOL

『クオリティ・オブ・ライフ』の略。
一般的に「人生の質」「生活の質」と訳される。

小林市立病院 臨床工学室
0984-23-8237（直通）

臨床工学室 村田 淳一

連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp

スタッフのひとこと

今年の梅雨は宮崎県で2番目に早い梅雨入りと言われ、夏になる前の蒸し暑さで体調管理が難しい時期ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

6月と言えば、私は紫陽花を思い浮かべます。梅雨はおっくうですが、雨露に濡れる紫陽花を見ると癒やされますよね。中々、外出が難しい状況ですが、テレビ等を通して、癒やされる映像や画像を見つけることもおうち時間を上手に過ごす一つではないでしょうか。

これから夏本番がやってきます。体調を整えながら毎日を元氣よく過ごしましょう。



地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 時任由紀奈